

各 位

2023年6月15日  
イカロス出版株式会社

メンズファッション誌「OCEANS」の人気連載「SEAWARD TRIP」を書籍化  
海と暮らし、海の豊かさを知る、各界の識者20名のインタビュー  
「海と暮らす SEAWARD TRIP」発売

インプレスグループで航空分野などのメディア事業を手掛けるイカロス出版株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：山手章弘）は、2023年6月15日に小山内隆著『海と暮らす～SEAWARD TRIP』を発売いたします。



SDGs14番目の目標は「海の豊かさを守ろう」。

海と暮らし、海の豊かさを知る各界の識者に、“海にまつわる問い”についてインタビューした、メンズファッション誌 OCEANS の人気連載を書籍化。

20名それぞれの海への想いを通して「海の豊かさとは何なのか？」を SDGs 全盛時代の今、一緒に考えてみませんか？



海で過ごす時間が暮らしに根付いているカリフォルニアには、海沿いに自然豊かな公園が整備されています。このような生活模様が海に囲まれた日本でも多く見られるようにと願い、メンズファッション誌 OCEANS での連載「SEAWARD TRIP」は始まりました。写真／牧野吉宏



「THE SEAWARD TRIP」として人物インタビューにバージョンアップした同連載。ウォーターマンの阿出川潤さんには、ウインドサーフィンと聖地マウイ島の魅力を教えていただきました。写真／ペドロ・ゴメス



ガイドブック「LOVELY GREEN NEW ZEALAND」制作に参加したトミマツタクヤさん。ニュージーランドに日本では得られなかった幸福観を教わったといいます。写真／トミマツタクヤ



逗子の海岸を舞台に“ビーチで過ごす放課後”を地域の子供たちに提供する一般社団法人「そっか」代表理事の永井巧さんは、海での原風景を心に刻んで成長してほしいと願っていました。写真／PAK OK SUN (CUBE)



都心にある千代田区立九段中等教育学校では、第一東京市立中学、九段高等学校、そして現状へと運営形態を変えるなかでも臨海学校を継続。100年近く続く伝統行事の意義について現職の先生に教えてもらいました。写真／古川勇氣

## ●目次

- ・自然写真家は何を撮っているんですか？（自然写真家・高砂淳二さん）
- ・“風の島”の人たちの生き方は日本と何が違いましたか？（ウオーターマン・阿出川潤さん）
- ・仲間と大海原に行くアウトリガーカヌーのどこに魅力を感じますか？（オーシャンアスリート・ケニー金子さん）
- ・なぜ、それほどニュージーランドを愛しているのですか？（ニュージーランド写真家・トミマツタクヤさん）
- ・50代。サーフィンとの向き合い方は変わりましたか？（プロサーファー・牛越峰統さん）
- ・伝統航海カヌーで海を越えると、そこには何がありましたか？（「ホクレア」乗組員・デニス・チャンさん）
- ・なぜ世界的企業のホンダが日本の海を掃除するのですか？（本田技研工業ビーチクリーン活動担当・前原洋一さん、木村嘉洋さん）
- ・“伝説的なサーフショップ”をなぜ事業承継するのですか？（ユナイテッドアローズ・清水学さん、秋山晃二さん）
- ・どうして自然を法律で守るのですか？（環境省自然環境局・尾碕恵美さん）
- ・リゾート開発は自然を壊しませんか？（星野リゾート代表取締役・星野佳路さん）
- ・木製商品を制作する際になぜ間伐材を使うのですか？（フロンティアジャパン・安藤豪太さん）
- ・氷河に水の循環を感じますか？（写真家・山田博行さん）
- ・なぜ平日にビーチクリーンを始めたのですか？（ラジオDJ・nicoさん）
- ・海での創作活動を通して気付いたことは何ですか？（現代美術作家・藤元明さん）
- ・日本に手つかずのビーチはどれほどありますか？（九州大学工学研究院准教授・清野聡子さん）
- ・毎日子供たちと海で遊んでいるのは、どうしてですか？（一般社団法人「そっか」代表理事・永井巧さん）
- ・福島の手つかずの海は豊かですか？（前サッカー日本代表専属シェフ・西芳照さん）
- ・サーフィンにセラピー効果はありますか？（サーフセラピー組織「IST0」・クリス・プリマシオさん、エジンバラ・ネピア大学の研究者ジェイミー・マーシャルさん）
- ・臨海学校にどんな学びがあるのですか？（千代田区立九段中等教育学校・山口尚己さん）
- ・太平洋沿岸にある鹿島灘海浜公園は今後どう進化しますか？（茨城県鉾田市建設部・菊池信幸さん、市村航祐さん）

## ●著者紹介

○小山内隆（おさない・たかし）

1971年、東京都生まれ。編集者、ライター。大学卒業後に勤めた出版社で2誌の編集長を経験。2003年に独立。以降フリーランスとして取材・執筆、編集活動が続ける。主な取材テーマは、ビーチカルチャー（海岸文化）、トラベル、ライフスタイル、スポーツ、人物インタビューなど。

「SEAWARD TRIP」はメンズファッション誌『OCEANS』においてコラム形式でスタート。現在は「THE SEAWARD TRIP」に改名し、4ページの人物インタビュー企画として連載中。ほか、プリントメディアやデジタルメディアでの編集・ライティング、国立公園内の展示施設のグラフィック制作への参加など、多様なプロジェクトに携わる。

## ●書籍情報

書名：海と暮らす～SEAWARD TRIP

著者名：小山内隆

発行所：イカロス出版株式会社

発売日：2023年6月15日

ISBN：978-4-8022-1293-9

体裁：A5判 210ページ

定価：1,980円(本体1,800円+税10%)

URL：<https://www.ikaros.jp/sales/list.php?srhm=0&tid=106&Page=1&ID=5450>

【イカロス出版株式会社】 <https://www.ikaros.jp/>

『月刊エアライン』を中心に航空、鉄道、ミリタリー、レスキュー分野で出版活動を展開。さらに旅行、通訳・翻訳、ライフスタイルなどの分野でも多くの出版物を展開しています。

【インプレスグループ】 <https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役：松本大輔、証券コード：東証スタンダード市場 9479）を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「航空・鉄道」「モバイルサービス」「学術・理工学」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

以上

---

## 【本件に関するお問合せ先】

イカロス出版株式会社 担当：佐藤信博

Tel：050-5602-3270 / E-mail：book2@ikaros.co.jp

URL：<https://www.ikaros.jp/>